

第 18 回ユネスコスクール全国大会

分科会詳細

第 1 分科会

ユネスコスクールからひろがる国際交流

- 開催形式
 - － ハイブリッド（対面会場：国際交流棟 国際会議室）
- 運営担当
 - － ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）
- 概要

ユネスコスクール全国大会前日に行われる板橋区立緑小学校の授業公開のリフレクションも兼ねて、幼稚園・小学校・中高等学校における国際交流の実践例を共有しながら意見交換する。海外の学校との交流や協働学習、地域や企業との連携、保護者のルーツを生かした学び等を通じて、児童生徒の異文化理解や ESD による問題解決型学習を促進する取組を紹介する。国際交流を教育活動にどのように組み込むか、また、持続可能な社会づくりの担い手をどのように育成していくかについて考える。

第 2 分科会

ユネスコスクールの「？」を「！」に！好事例から学ぶ実践のヒント

- 開催形式
 - － ハイブリッド（対面会場：国際交流棟 第 1 ミーティングルーム）
- 運営担当
 - － ユネスコスクール教員 有志
- 概要

ユネスコスクールでは、国際デーの実施、ホールスクールアプローチの推進、国際プロジェクトへの参加等が推奨されている一方、実施方法がわからないといった声や、校内体制づくりに課題を抱える学校も少なくない。本分科会では、実際に取り組まれている好事例を共有するとともに、参加者同士の意見交換を通じて課題や工夫を学び合う。ユネスコスクールの特色を生かした取組の充実について考え、活動のさらなる発展につながるヒントを探る。

第 3 分科会

サステナブルをもっとおもしろく、ESD とつくる体験 ～ESD 大賞と大学の実践をとおして～（第 17 回 ESD 大賞授賞式）

- 開催形式
 - － ハイブリッド（対面会場：センター棟 402 室）
- 運営担当
 - － NPO 法人日本持続発展教育（ESD）推進フォーラム
- 概要

ESD（持続可能な開発のための教育）の多様な実践事例を共有し、参加者同士の意見交換を通じて新たな学びや気づきを得ることを目指す。あわせて、第 17 回 ESD 大賞授賞式を開催し、優れた取組を紹介・顕彰することで、ESD のさらなる発展と普及を促進する。

第 4 分科会 **2030 年に向けた教育の未来を考えるワークショップ**

- 開催形式
 - － 対面のみ（対面会場：センター棟 409 室）
- 運営担当
 - － 聖心女子大学
- 概要

2023 年ユネスコ教育勧告について理解を深めることを目的として、カード型教材等を活用した対話とワークショップをおこなう。今年度は特に、12 の学習目標に焦点を当てて、その背景にある考え方や教育実践とのつながりについて理解を深める。参加者が互いの経験や視点を共有しながら、平和で人権が保障され、持続可能な社会の実現に向けて教育が果たす役割について考える機会とする。

第 5 分科会 **国際機関（ユネスコ）の扉をノックしよう ※ ユース対象**

- 開催形式
 - － 対面のみ（対面会場：センター棟 415 室）
- 運営担当
 - － 次世代ユネスコ国内委員会
- 概要

ユネスコ本部や地域事務所で働いた経験のある若者から、実際にどのような仕事をしていたのか、職場はどんな雰囲気なのか、海外ではどのように暮らしていたのかなど、リアルな体験を聞くことで、国際機関で働くことを「自分とは遠い世界」と感じている人にも、「こんな仕事や働き方もある」ことを知ってもらい、自分の将来や社会とのかかわり方について考え、視野を広げる機会とする。登壇者に直接質問したり、交流したりする時間も設ける（本分科会は、主に児童生徒を対象とする）。